

海水淡水化プラント納入実績～世界中に安心・安全な水を～

世界の人口が増加するに伴い、水不足が問題となっています。当社グループは、海水淡水化プラントの建設を通して、世界に安全・安心な水を提供していきます。

当社は1971年に1号機を建設して以来、日本と中東を中心に世界で45件納入し、これまでの造水能力は、約200万m³/日に達しています



海水淡水化の方法	特徴	納入実績 (2020年3月31日現在)
逆浸透膜法 (RO)	<ul style="list-style-type: none"> 淡水化に必要なエネルギーが最も少ない。 システムが簡単であるため、短納期である。 	<ul style="list-style-type: none"> 納入件数：20件 総ユニット数：36基 総造水能力：280,980m³/日 <p>* 上記以外にも、当社グループ Osmofloにおいて、世界中で450件以上の実績を有しています。</p>
多段フラッシュ法 (MSF)	<ul style="list-style-type: none"> 多数の運転実績があり、大型に適している。 海水の水質変化（塩濃度・濁度等）に装置性能（生産水水質・効率）は左右されない。 	<ul style="list-style-type: none"> 納入件数：17件 総ユニット数：49基 総造水能力：1,664,997m³/日
多重効用法 (MED)	<ul style="list-style-type: none"> 伝熱効率が高く、逆浸透膜法に比べ、40%の省電力である。 海水の水質変化（塩濃度・濁度等）に装置性能（生産水水質・効率）が左右されない。 	<ul style="list-style-type: none"> 納入件数：9件 総ユニット数：9基 総造水能力：10,800m³/日